

# 令和4年度 学校関係者評価委員会

小松島市 立江小学校

1 期日 令和5年2月12日（日） 13:30～15:30

2 場所 立江小学校 校長室

3 出席者

【学校関係評価委員】 5名（立江小学校学校運営協議会委員）

立江協議会会長 池渕 彰 様

立江公民館館長 垂水 明 様

祇園囃子伝承教室会長 森本 利雄 様

民生委員児童委員 江崎 敬 様

しらさぎ育成会代表者 山住 涼子 様

【学校職員】 2名

校長 高原 俊英

教頭 瀬野 俊恵

4 進行次第（瀬野教頭）

- (1) 学校長あいさつ
- (2) アンケート結果の説明
- (3) 質疑応答
- (4) 意見交換

5 協議内容

- ・授業中、分からないことを質問できていない児童がいることについては、授業改善や先生に何でも言いやすい体制、質問しても恥ずかしくないという学校や教室の雰囲気を作ることが大切。  
今までコロナ禍で難しかったが、異年齢集団における活動やコミュニケーションを育むような活動も復活できれば、もっと学校や授業が好きになり積極性も高まるのではないかと考える。
- ・教職員のアンケートはポイントが全体的に上がっているが、児童と保護者のポイントが下がっていることについては、しっかり分析して次年度の取り組みに活かすことが大切である。特に、授業改善や児童へのきめ細やかな対応についてはさらなる工夫が求められる。
- ・読書の評価が毎年低いことについては、読書環境や家庭・教師の影響が大きい。読書の機会を確保したり、予算の都合もあるが、図書室や学級文庫の本を整備したりすること、特に子どもが読みたい本が揃っているか見直しを図る。  
市の事業としても、市立図書館を中心に本を好きになるため、また本と出会える機会を増やすために、いろいろな楽しいイベントも計画されている。ぜひ参加してもらいたい。
- ・年休が計画的に消化できていない教職員がいる。時間外勤務が大きく超過することは少ないが、担当業務や時期により、仕事が忙しくなり年休が取得しづらいことが考えられる。業務改善やサポート体制を見直して円滑に取得できるように努めたい。